

2021年度 自己評価 学校法人都城コア学園 都城デンタルコアカレッジ

1 自己評価の目的と実施方法

学校運営が教育目標に沿って計画的に実施され、地域社会や企業・施設等のニーズに合致したものであるかを検証するとともに、学生が実践的な知識・技術を習得し、社会人としての責任の自覚を確認することで、学校改善を図り、教育水準を向上させることを目的とする。

評価に当たっては、4段階評価とし、可能な限り根拠や課題・改善策を明示するものとする。

なお、この自己評価結果は、学校関係者評価委員会に図り、その結果は公表する。

2 自己評価内容・項目

(1) 教育理念・目標 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

1-1	専門分野の特性を明確に表した学校の教育目標・育成人材像が定められているか。	4	3	2	1
1-2	地域社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
1-3	学校の教育目標・育成人材像・特色等が学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

1-3 感染予防対策として、定例の全体朝礼等の回数を減らしてきた。今後は感染状況を見ながら、学生への指導を充実させる必要がある。

② 今後の改善方策

・これまでの取り組みを継続し、地域社会のニーズ等を常に把握しながら、本校の教育目標・育成人材像を粘り強く、学生及び保護者等に周知していく。

(2) 学校運営

2-1	教育目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
2-2	法規及び学校運営方針に基づいて、諸規程が整備されているか。	4	3	2	1
2-3	計画的な学校運営が行われているか。	4	3	2	1
2-4	校務分掌を明確にし、組織的な学校運営が行われているか。	4	3	2	1
2-5	教育活動等に関する情報公開は、適切になされているか。	4	3	2	1
2-6	全教職員による学校運営協力体制と教職員間意思疎通が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

2-5 ホームページやチラシでも、教育活動等に関する情報を公開している。より効果的になるよう改善作業を進めている。

② 今後の改善方策

・教職員間意思疎通を図るためにも、今後もこまめに意見交換・情報交換を行う。

(3) 教育活動

3-1	教育目標に沿った教育内容かつ体系的な教育課程が編成されているか。	4	3	2	1
3-2	教育課程を組織的に検討する体制が整備されているか。	4	3	2	1
3-3	科目の指導内容、評価基準を示すシラバスが作成されているか。	4	3	2	1

3-4	校内規定に沿った適切な成績評価・単位認定、進級及び卒業判定が行われているか。	4	3	2	1
3-5	実習施設との連携を図りながら、臨床（臨地）実習の適切な実施時期、内容、評価方法が行われているか。	4	3	2	1
3-6	実習におけるリスクマネジメント体制は整備されているか。	4	3	2	1
3-7	教育目標・育成人材像の具現化を図るための指導体制を整え、適切に指導がなされているか。	4	3	2	1
3-8	学習成果発表の機会を設定し、実施が図られているか。	4	3	2	1
3-9	教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1
3-10	学生自治会活動等への助言・支援が行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- 3-5 実習前に、臨床実習講師会を開催し、指導方針や評価等について、相互理解を図っている。また、各実習施設との事前打ち合わせも必ず行っている。
- 3-6 事前指導及び巡回指導を徹底している。また、実習施設への補償や学生の怪我等に備えた保険に加入している。

② 今後の改善方策

- ・積み重ねてきた取り組みを活かし、実習施設との連携を常に図り、アクシデント等に適切に対処する。また、これまでの事例を踏まえて、学生への適切な指導を行う。

(4) 教育成果

4-1	資格取得の意義を明確に示しながら、受験者全員取得を目指す取り組みが行われているか。	4	3	2	1
4-2	学習力を向上させるための方策が図られているか。	4	3	2	1
4-3	計画的な就職指導・支援等により、志望者全員の就職内定が図られているか。	4	3	2	1
4-4	個別的な支援体制を整え、保護者と連携しながら退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

- 4-4 留年者、進路変更者をなくす対策や対応に努め、担任や教務主任、校長による個人面談に加え、保護者を交えた三者面談等を行っている。

② 今後の改善方策

- ・一人ひとりの学習状況・健康状態を把握し、職員間で情報を共有しながら、粘り強く指導する。

(5) 学生支援

5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-3	経済的な支援体制を整備し、学生・保護者への周知が図られているか。	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理体制は整備されているか。	4	3	2	1
5-5	卒業生への支援が行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

5-5 卒業生への再就職支援は積極的に行っている。将来的には、再就職のための講座開設などの支援ができるとよいと考える。

② 今後の改善方策

- ・就学支援制度等の各種公的支援に関する情報を適宜、学生及び保護者に提供する。

(6) 教育環境

6-1	実習施設・設備等に対して、十分な教育体制が整備されているか。	4	3	2	1
6-2	施設・設備及び備品の管理は適切に行われているか。	4	3	2	1
6-3	万が一に備えた保険等の処置は十分に施されているか。	4	3	2	1
6-4	事故・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

6-3 学校管理下における授業中や実習中の怪我や補償に対応した学生保険に加入している。

② 今後の改善方策

- ・施設、設備及び備品の点検・管理を適切に行い、問題発生時には、速やかに対処する体制を維持し、校内施設・設備の充実に努める。

(7) 学生募集

7-1	学校案内、ホームページ等には正確な情報を掲載し、個人情報には十分留意されているか。	4	3	2	1
7-2	問い合わせ・相談には、適切・丁寧に対処されているか。	4	3	2	1
7-3	全教職員が関連情報を共有し、協力体制での募集活動が行われているか。	4	3	2	1
7-4	入試事務を的確に処理し、また、入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき、組織的に行われているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

7-1 ホームページは随時、必要に応じて最新情報を更新している。氏名や写真の掲載については、本人の承諾を得て公開している。また、その刷新を進めている。

② 今後の改善方策

- ・近隣の各高校の実態に合わせて、平準した志願者を確保することが課題である。また、関係機関と連携して、歯科衛生士の認知度を高めることが課題である。

(8) 財務

8-1	財務諸表に基づく分析を行い、健全な財務に保持されているか。	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1
8-3	財務について、会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の推進が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

8-2 適正に減価償却費を計上し、将来に備えて資金を確保する必要がある。

② 今後の改善方策

- ・財政的余裕をもたらすためにも、入学生の確保に努める。

(9) 法令等の遵守

9-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営は行われているか。	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策が施されているか。	4	3	2	1
9-3	自己評価及び学校関係者評価を実施し、問題点の改善が図られているか。	4	3	2	1
9-4	自己評価及び学校関係者評価結果は公表されているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

9-3 新型コロナ感染予防対策のために、書面による評価を行った。

② 今後の改善方策

- ・情報漏洩に関する各教職員向けの研修を実施するなど、対策の必要性がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献が図られているか。	4	3	2	1
10-2	学生ボランティア活動の奨励、支援が図られているか。	4	3	2	1

① 取組状況・課題

10-1 空き教室がないため、学校の施設を利用した講座等の開設は難しい。また、感染状況を見ながら、学校祭で行ってきた、フッ素塗布や歯磨き指導などの再開に努めたい。

② 今後の改善方策

- ・学生のボランティア意識を高める指導を行い、「お口の健康フェスティバル」や施設からのボランティア活動要請には、今後も学業に支障のない範囲で協力する。